ＪＲ東海労ニュース

№１７９６
２０１３年２月１４日
ＪＲ東海労働組合

北朝鮮核実験に抗議！軍拡競争は止めろ！

２月13日の報道によると、北朝鮮が12日に行った３度目の地下核実験が成功したと伝えました。いかなる理由があろうとも、どの国であろうとも、大量殺戮兵器の開発は絶対に許されるものではありません。断固抗議する。

この核実験を契機に、日本や米国などは軍備拡大などを目論むことは容易に想像できます。更に、憲法第９条の改悪（集団的自衛権の行使、自衛隊の国防軍化・徴兵制導入など戦争が出来る国づくり）へと突き進むことが危惧されます。

石原慎太郎前東京都知事の尖閣諸島購入発言を契機に、アジア・太平洋地域での軍事的緊張が高まっています。２月９日（日本時間10日）には、自衛隊と米海兵隊の離島奪還訓練が米本土で行われています。軍拡競争こそが平和を否定する行為であり、軍事的緊張を高める原因となっているのです。

ＪＲ東海労は、全ての戦争政策に反対し、平和を希求する闘いを推し進めていきます。

核実験「成功」と発表

北朝鮮

小型・軽量化を誇示

追加実施を示唆か

北朝鮮は12日、3度目の地下核実験を「成功裏に行った」と明らかにした。朝鮮中央通信が伝えた。同通信は「爆発力が大きく、小型化、軽量化し、高い水準で安全で完璧に実行した」と報じた。小型、軽量化が事実なら北朝鮮の核の脅威が一層深刻化した恐れがある。

―関連記事2、3、4、5、7、26、27面へ

安保理が緊急会合

日米韓や中国などは実験強行を非難。国連安全保障理事会は12日、緊急会合を開き、対応を協議した。昨年12月の事実上の長距離弾道ミサイル発射に対する今年1月22日の制裁決議で、核実験をした場合「重大な行動」を取ると警告しており、制裁の大幅拡大に向けた決議が議題になる。

朝鮮中央通信は金正恩（キムジョンウン）第一書記体制下で初となる核実験の実施について「平和的な衛星打ち上げの権利を乱暴に侵害した米国の暴挙非道な敵対行為に対処し、国の安全と自主権を守るための措置の一環」と指摘した。

北朝鮮外務省は12日、核実験は1次的対応措置。米国が最後まで敵対的なら2次、3次対応まで続けなければならない」とする談話を発表した。核実験の追加実施を示唆した可能性がある。

同通信は「多種化したわれわれの核抑止力の優秀な性能が物理的に誇示された」と報道。北朝鮮は2006年10月9日と09年5月25日に核実験を実施しているが、今回はプルトニウム型とみられる過去2回と異なり、高濃縮ウランを使用したことを示した可能性がある。高濃縮ウランを使用したとすれば、核兵器の量産体制につながる恐れもある。

韓国の金寛鎮（キムグァンジン）国防相は12日、核実験は北東部咸鏡北道の豊渓里実験場で3カ所確認されている坑道のうち西側坑道を使ったと推定していることを明らかにした。

安倍晋三首相は12日、長崎は21キロトンだった。同省によると、豊渓里付近で12日午前11時57分日本時間同じ）、マグニチュード（M）4・9の「人工的な地震」が観測された。

朝鮮・豊渓里の核実験場と実験の位置

※聯合ニュース提供

	マグニチュード(M)	爆発力(kt)	種類
1回目	3.6	1	プルトニウム活用
2回目	4.5	2～6	プルトニウム活用
3回目	4.9	6～7	ウラン(またはウランとプルトニウム方式の活用と予想)

◀２月13日静岡新聞

全ての戦争政策を許さず、平和のために闘おう！